

日本学術会議地域研究委員会
人文・経済地理学分科会
(第 24 期 第 1 回) 議事要旨

日時：2018 年 1 月 22 日 (月) 10:00～12:00

場所：日本学術会議 6-A(2)会議室

出席者：石川義孝、伊藤 悟、碓井照子、岡橋秀典、岡本耕平、田原裕子、中澤高志、
橋本雄一、増田 聡、松原 宏、宮町良広、村山祐司、矢野桂司、山川充夫、
山下博樹、山本健兒

議事概要

1. 委員長・副委員長・幹事の選出

世話人の松原会員より挨拶、出席委員の自己紹介に引き続き、委員長に松原会員、副委員長に岡橋連携会員、幹事に吉田連携会員が選出された。

2. 第 23 期活動の総括

第 23 期委員長の石川会員より、配布資料にもとづき、第 23 期の活動内容について報告がなされた。主な成果は、2017 年 3 月に出された提言「人口減少時代を迎えた日本における持続可能で体系的な地方創生のために」であり、その作成過程およびその後のインパクトレポートについて、今後の取り組むべき課題も含めて説明がなされた。

3. 第 24 期活動の計画

松原委員長より、第 24 期の本分科会の設置提案書の審議事項として、「今後の国土政策のあり方」を記載した点が述べられ、配付資料にもとづき、「日本における国土政策の現状と課題」について説明がなされた。その後、各委員から多くの意見が出された。結論として、第 24 期では、国土政策を取り上げることで合意が得られ、今後、シンポジウムの企画について相談をし、シンポジウムでの議論をもとに、提言をめざしていくという方針で賛同が得られた。